

千葉県高齢者保健福祉計画(令和3年度～5年度)の施策体系

基本目標

基本施策

主な取組(素案)

【目標Ⅰ】
生き生きとした暮らしの豊かに、健康で

| | |
|---|---|
| 1 生涯現役社会の実現に向け、社会参加・生きがいを支える環境の整備の促進 | |
| 【趣旨】高齢者が就労や地域社会での役割を通じて生きがいを持ち、意欲や能力に応じて活躍できるような環境整備を促進します | |
| 【課題】生きがいを支える環境の整備、多様な働き方の実現、多世代共生型の地域づくり | |
| ① 生涯現役社会に向けた意識の醸成と高齢者が役割を持って活躍する地域づくりの推進 | ◇老人クラブ活動の活性化 ◇生涯大学の運営 ◆ボランティア参加の促進 |
| ② 高齢者が意欲・能力に応じて働き続けることができる環境づくりの推進 | ◇いきいき帰農者等研修の実施 ◇高齢者の就業機会の確保 |
| ③ 生きがいを支える環境の整備 | ◇明るい長寿社会づくりの推進 |
| 2 健康寿命の延伸とともに自立した生活の実現に向けた高齢者の心身の機能の維持・向上の促進 | |
| 【趣旨】高齢者が尊厳を持って自立した生活を営めるよう、生活習慣病対策や介護予防と高齢期に応じた心身機能の維持・向上を促進します | |
| 【課題】健康寿命の延伸、心の健康づくり、通いの場の推進、サルコペニア・フレイル | |
| ① 高齢者の健康づくりや生活習慣病対策等の推進 | ●高齢者の食育の推進 ◇医薬品等の適切な使用の推進 ◆元気ちば！健康チャレンジ事業 |
| ② 自立支援、介護予防及び重度化防止の推進 | ●自立支援、介護予防及び重度化防止に関する市町村への支援 ◇ロコモティブシンドローム予防等の普及啓発 |

【目標Ⅱ】
介護が必要になっても、安心して自分らしく暮らせる地域社会の構築

| | |
|--|--|
| 1 地域共生社会の実現を目指した、誰もが互いに見守り支え合う安全・安心な地域づくりの推進 | |
| 【趣旨】地域の支え合い体制づくりと防犯・防災の環境整備を行い安全・安心な地域づくりを推進します | |
| 【課題】地縁の希薄化、孤立化、複合的な課題(8050等)、生活支援の充実、再犯防止・社会復帰、消費者被害、自殺、交通事故、権利擁護、虐待、災害等発生時の支援 | |
| ① 地域での支え合い・見守りネットワークの整備促進 | ◇「ちばSSK(しない・させない・孤立化)プロジェクト」の普及啓発 ◇見守りネットワークの整備支援 |
| ② 生活支援体制整備の促進 | ◆生活支援コーディネーターの養成 |
| ③ 生涯を通じた福祉に関する教育・学習・ボランティア活動の促進 | ◇県民向け市民活動・ボランティア普及啓発 ◇ボランティアの振興 ◇福祉教育の推進 |
| ④ 安全・安心な生活環境の確保 | ◇STOP!電話de詐欺 ◇消費者教育及び啓発の充実 ◇高齢者の交通事故抑止対策の推進 |
| ⑤ 困難を抱える高齢者への支援 | ◇高齢者虐待防止対策の推進 ◇生活困窮者自立支援事業 ◆自殺対策推進への支援 ◆矯正施設出所者等に対する切れ目のない生活支援の推進 |
| ⑥ 災害等への対応 | ◆高齢者福祉施設の防災機能強化 ◆災害福祉支援チーム(DWAT)の派遣体制の強化 |
| 【新型コロナウイルス感染症への対応】 ◆クラスター対策チームの派遣 ◆介護施設等における感染症拡大防止に係る支援 | |
| 2 医療・介護連携の推進と地域生活を支える介護サービスの充実 | |
| 【趣旨】在宅医療や介護サービスの円滑な提供を推進するとともに、医療と介護の連携体制づくり等を支援します | |
| 【課題】在宅医療資源の充実、多職種連携体制の構築、地域リハの推進、地域密着型サービスの普及促進、介護者支援 | |
| ① 在宅医療の推進と看取り | ◇在宅医療を実施する医療機関の増加支援 ◇訪問看護の推進 |
| ② 医療・介護サービスの連携強化と多職種協働の推進 | ◇在宅医療・介護連携の推進に取り組む市町村への支援 ◆医療と介護の地域連携 |
| ③ 地域リハビリテーションの充実 | ◇地域リハビリテーション支援体制の整備 ◇千葉県千葉リハビリテーションセンターの運営 |
| ④ 介護サービスの整備・充実 | ◇地域密着型サービスの整備支援、開設準備支援 ◇老人短期入所居室(ショートステイ)の整備促進 |
| ⑤ 介護サービスの質の確保・向上 | ◇介護サービス事業者の指導 ◇介護サービス情報の公表、福祉サービスの第三者評価・情報公表 |
| ⑥ 介護する家族への支援 | ◇高齢者相談窓口の設置 ◇福祉ふれあいプラザの運営 |
| 3 高齢者が暮らしやすい住まい・まちづくりの推進 | |
| 【趣旨】心身や世帯等の状況に応じた住まいづくりやバリアフリーに配慮したまちづくりを推進します | |
| 【課題】多様な住まいの確保、住宅のバリアフリー化普及促進、特別養護老人ホームの整備、移動手段の維持・確保 | |
| ① 多様な住まいのニーズへの対応 | ◇民間賃貸住宅への入居支援 |
| ② 自立や介護に配慮した住宅の整備促進 | ◇サービス付き高齢者向け住宅の供給促進及び情報公開 |
| ③ 施設サービス基盤等の整備促進 | ◇広域型特別養護老人ホームの開設支援・整備促進 ◇地域密着型サービスの開設準備・整備への支援 |
| ④ 自立や介護に配慮した安全・安心なまちづくりの促進 | ◆持続可能な地域公共交通の確保支援 ◇歩行空間のバリアフリー化の推進 |
| 4 地域包括ケアシステムを支える(保健・医療・福祉・介護)人材の確保・育成・定着に向けた取組の推進 | |
| 【趣旨】地域包括ケアの推進にあたり、保健・医療・福祉・介護人材の確保・定着対策を推進します | |
| 【課題】人材の確保・育成・定着、マイナスイメージの払しょく、働きやすい環境づくり、処遇の向上、業務負担軽減 | |
| ① 人材の確保・養成 | ◇各種修学支援 ◇県立保健医療大学の運営 ◆外国人介護職員の活用 |
| ② 人材の育成 | ◇各種研修の実施 ◇医師キャリアアップ・就職支援センターの運営 ◇福祉・介護人材キャリアアップ支援 |
| ③ 人材の定着 | ◇病院内・介護事業所内保育所への支援 ◆メンタルヘルスサポート ◆外国人介護人材支援センター |
| ④ 業務仕分けや業務改善の取組推進 | ◇介護ロボットの導入支援 ◆介護事業所におけるICT導入支援 |
| 5 認知症の人やその家族などに対する総合的な支援の推進 | |
| 【趣旨】認知症の人やその家族を支える地域支援体制の構築を推進します | |
| 【課題】認知症の早期発見・早期対応、地域支援体制の構築、介護者支援、若年性認知症への支援 | |
| ① 認知症に対する正しい理解の普及・啓発と認知症バリアフリーの推進 | ◆企業向け認知症サポーターの養成 ◆チームオレンジの体制整備 |
| ② 認知症予防の推進 | ◇認知症発症予防の普及啓発 ◇認知症チェックリストの普及啓発 |
| ③ 早期診断と適切な医療・介護連携体制の整備、多職種協働の推進 | ◇認知症サポート医の養成 ◇千葉県オレンジ連携シートの普及 ◆認知症初期集中支援チームの体制整備 |
| ④ 認知症支援に携わる人材の養成 | ◇かかりつけ医認知症対応力向上の推進 ◇認知症介護実践者等の養成 |
| ⑤ 本人やその家族への支援と本人発信支援 | ◇認知症相談コールセンターの運営 |
| ⑥ 若年性認知症施策の推進 | ◇若年性認知症対策の総合的な推進 |
| 6 地域包括ケアシステムの推進や介護給付適正化に向けた市町村の取組支援 | |
| 【趣旨】地域包括ケアシステムの構築や介護給付の適正化事業に取り組む市町村を支援します | |
| 【課題】市町村の課題への支援、地域包括支援センターの機能強化、地域ケア会議の効果的な活用、保険者機能強化推進交付金等の活用、介護給付適正化 | |
| ① 地域包括ケアシステムの推進に向けた県民の理解の促進 | ◇地域包括ケアシステムに関する県民への普及啓発 |
| ② 地域の特性に応じた体制づくりを進める市町村への支援 | ●地域包括支援センターへの支援 ◆地域包括ケアシステム体制整備に係る市町村支援 |
| ③ 介護給付適正化に向けた市町村への支援 | ◇ケアプランの分析等介護報酬に係る点検支援 ◇介護支援専門員の養成 |

介護保険

| | |
|--|--|
| 介護保険サービス量の見込みと基盤整備 | |
| 【趣旨】本計画の介護サービス量の見込みを行い、医療計画における在宅医療との整合を図りながら基盤整備を進めます | |
| 【課題】施設・在宅サービスの充実、ケアプラン点検の推進、高齢者施設等の整備 | |
| ① 居宅・施設・地域密着型サービスの各サービス利用見込み量を推計 | |
| ② 介護保険施設等の整備目標数を設定 | |
| ③ 介護保険標準給付費を推計 | |

◆:計画に新たに位置付けた取組 ●:拡充、改善した取組